

第27回駐日外交団の地方視察ツアー（富山県高岡市・石川県金沢市）

平成 30年2月
地方連携推進室

平成30年1月17日から18日まで、外務省と3自治体（富山県、高岡市、金沢市）との共催で駐日外交団を対象とした地方視察ツアーを実施し、駐日各国外交団14か国から計21名が参加しました。

今回のツアーは、東京にある各国大使館で勤務している駐日外交団に、高岡市及び金沢市の観光、歴史、産業等への理解を深めてもらおうと開催され、各視察先では、参加者に対して各施設の取組等が紹介されました。

1日目、高岡市に到着した外交団は、株式会社能作にて、ものづくりの街・高岡を代表する産業である鑄造の説明を受け作業を視察した後、自ら鑄物作りに挑戦しました。

午後には富山県総合デザインセンターを視察後、国宝・瑞龍寺を訪問し、座禅体験も行いました。清都酒造では酒蔵での仕込みの準備を特別に視察することができました。また昔ながらの町屋の母屋で絞ったての新酒を試飲し、酒造りを五感で体験したことで外交団の日本酒への理解が大いに深まりました。その後、高岡御車山会館で、山車をバックに雅楽の舞を堪能しました。

夜には、高岡市長主催の歓迎夕食レセプションが開催され、創作舞踊の披露、富山県内の酒蔵、日本酒に合う和菓子、観光ブースが出展され、駐日外交団や地元関係者は、富山県の食材を使った料理を味わいながら、意見交換や親睦を深めました。

2日目の朝、高岡市から新幹線で金沢市に移動し、まず、金沢市立安江金箔工芸館を視察し、金沢における金箔技術についての知識を学んだ後、金箔屋さくだで実際に金箔貼りに挑戦しました。自分でデザインを決め、金箔を貼る作業に外交団は真剣に取り組み、できあがりの素晴らしさに歓声が上がっていました。

昼には、「金沢21世紀美術館」内のカフェで、高岡市長主催の昼食会が開催され、駐日外交団は金沢の食材を使った料理をいただきながら、今回のツアーに参加しての感想等を述べました。昼食後は、同美術館を視察しながら、現代美術を通して「市民の交流の場」・「金沢の魅力発信の場」としての役割を外交団は肌で感じていました。

引き続き、兼六園内で茶の湯を体験後、園内を散策し、数百年にわたり脈々と受け継がれてきた庭園美と雪景色とのコントラストを目の当たりにし、多くの参加者が感銘を受けていました。



「能作」での鑄物作り体験



高岡御車山会館にて雅楽の舞手との記念撮影



高岡市長主催歓迎夕食会

最後に、毎田染画工芸を訪問し、加賀友禅の歴史、特色、工程を学んだ後、男性参加者は絵付け、女性参加者は加賀友禅の着付けをそれぞれ体験しました。絵付けは細かい作業に苦勞する外交団もいましたが、それぞれ個性的な色合いで表現するなど、仕上がりが楽しみな体験となりました。また、着付け体験では、着付けが終わると満面の笑みで写真を取り合うなど、着物を楽しむ参加者の姿が印象的でした。

今回のツアーの共催自治体からは「富山県が誇る伝統、文化、芸能などの魅力を知って頂く貴重な機会となった。このツアーを契機に富山県の魅力を更に知っていただけるよう、今後ともPRに努めていきたい。」「日本の冬の美しさ、白銀の雪化粧とともに、高岡が誇る歴史と文化と物づくりの魅力を発信する貴重な機会となった。」「金沢市の伝統や文化の一端を御紹介できて光栄だった。今回の訪問を機に、各国の市民同士の交流が更に活発になることを期待している。」といった声が聞かれました。

また、参加した外交団からは「日本の職人技と伝統を学ぶ素晴らしい機会だった。」との声が聞かれました。



「金箔屋さくだ」での金箔貼り体験



金沢ひがし廓 志摩

【プログラム・訪問先】

1月17日(水)

- 株式会社能作
- 富山県総合デザインセンター
- 瑞龍寺
- 清都酒造
- 高岡御車山会館
- 高岡市長主催歓迎夕食会

1月18日(木)

- 金沢市立安江金箔工芸館
- 金箔屋さくだ
- 金沢ひがし廓 志摩
- 金沢21世紀美術館
- 兼六園
- 毎田染画工芸



加賀友禅の着付け体験